

中曽根元首相 死去

戦後政治の総決算

101歳

国鉄民営化を実現

安倍、佐藤、吉田、小泉各内閣に次ぐ戦後第五位の長期政権を担い「戦後政治の総決算」を掲げて国鉄（現JR各社）の分割・民営化を実現した元首相の中曽根康弘（なかそね・やすひろ）氏が死去したことが二十九日、分かった。百一歳。群馬県出身。自宅は東京都豊島区。

首相在任中は国鉄のほか、日本電信電話公社（現NTT各社）、日本専

売公社（現日本たばこ産業＝JT）

の民営化など行財政改革を

進めた。戦後首相初の靖国神社

公式参拝や、防衛費の国民総生

産（GNP）比1%枠撤廃など

国政上のタブーに挑んだ。

対米関係ではレーガン大統領

（当時）と「ロン・ヤス」関係

を築いた。



中曽根康弘元首相

